

公明お知らせ

145号

K O M E I ・ E D O G A W A ・ T O K Y O

<http://www.e-komei.com>

発行：江戸川区議会公明党／令和6年4月

区議会公明党は災害対策に全力!!

災害用カメラと自営通信網システムを配備!!

電力や携帯電話等の断絶時に、区として自営の通信網による確実な情報共有を実現。特に、区内全体を見渡せる高所カメラの増設と、市街地を撮影する防災カメラ(約200カ所、半径300m)の新設と共に、死角をカバーするドローンも整備。これにより、災害対策本部と各避難所等をはじめ、区民へのリアルタイムな画像による災害情報の発信を実現します。



住宅の耐震化を更に促進!!

耐震化促進のため、工事助成限度額を上限100万円から150万円に拡充。

更に、令和4年度から助成対象に拡充した2000年基準(昭和56年~平成12年)の普及啓発を更に推進します。



江戸川区ホームページ

能登半島地震被災者救援募金を実施!!

本年元旦、能登半島地震で甚大な被害が発生しました。令和6年1月20日、江戸川区議会公明党は「被災者救援の会」の皆さんと共に、都営地下鉄新宿線の船堀駅前緊急街頭募金を実施。寄せられました募金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられました。



令和6年 第1回 江戸川区議会定例会報告

2月20日(火)の代表質問に関根麻美子幹事長が、21日(水)の一般質問には所隆宏議員が登壇し、斉藤猛区長から前向きな答弁を得ました。(一部紹介)

Q 新庁舎建設延期の理由と整備への影響は

A 働き方改革による人件費等の上昇が要因である。コスト削減に努めるが、整備内容に影響はない。

Q 本庁舎跡地の活用と移転時期への影響については

A 小松川警察署の移転先として、施設複合化、速やかな整備を警視庁に要望している。

Q 本区の災害対策について

- ①ホンプ所の耐水化について都に訴えるべき
- ②女性の視点による避難所運営の在り方について

A ①あらゆる機会を捉え都に強く要請していく。
②女性の視点を大切にた開設訓練等、また、防犯品備蓄や避難所レイアウト等検討する。



Q (仮称)江戸川区子ども計画策定について

A 子ども・若者の意見を反映させた、区の明るい未来に繋げる計画にしたい。



Q 耐震化の更なる推進と液状化対策について

- ①宅地における液状化対策について、今後どのように推進していくのか
- ②上下水道等の液状化対策の現状と、区道等における公共施設の液状化対策の課題については

A ①都の制度内容の確認や他自治体の動向を注視しながら、行うべき液状化対策を研究する。
②水道管路の耐震継手は6割強が完了している。道路部分は補助制度が確立していない等の課題があり、課題解消に向け国等に働きかける。



Q 法改正を踏まえた今後の老朽空き家対策と、空き家の利活用推進について

A 都との連携で老朽危険家屋の除去や建物の適正管理に努める。空き家マッチング事業の有効活用をはじめ関係団体と意見交換し検討する。

